

移植腎病理研究会・第26回学術集会 (ハイブリッド開催)

プレミナリープログラム

2023年6月5日現在

日時

2023年7月8日(土)
8:55~17:25

会場

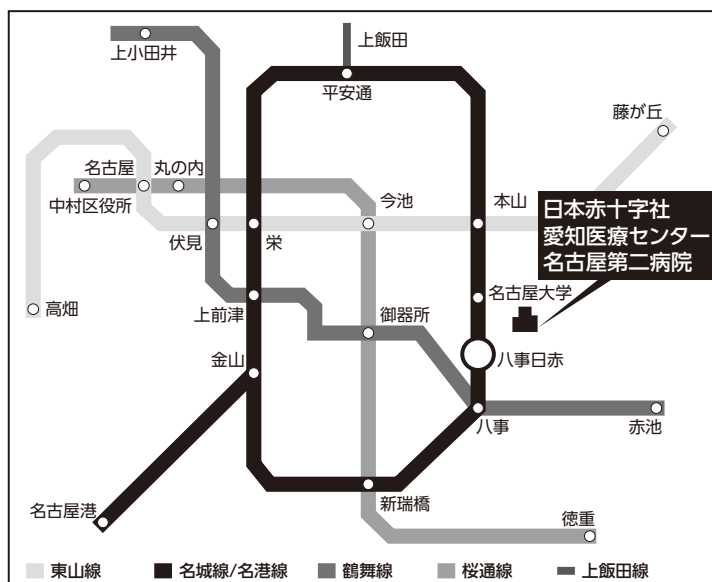
日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院 研修ホール
〒466-8650 名古屋市昭和区妙見町2番地の9
TEL 052-832-1121

Live配信

現地会場ならびに全国各地よりWEB配信

会長

小川 弥生
(NPO法人北海道腎病理センター)



● 名鉄・JR・近鉄「名古屋」駅より
地下鉄東山線「本山」経由乗り換え、名城線「八事日赤」駅下車、2番出口を出てすぐ

ご案内

<ご参加の皆様へ>

- ・ 来場参加、オンライン参加、いずれもご参加には事前参加登録が必要となります。
研究会ホームページ内、参加登録ページより登録をお願いいたします。
<https://www.sec-information.net/kidpatho/> (参加費:5,000円)
ご来場でのご参加受付は先着120名で締切とさせていただきます。
- ・ 原則、会場内での当日参加受付は行いませんので、ご注意ください。
- ・ 会場内へのご入場は午前8時15分より開始します。
- ・ ご来場参加の先生方はランチョンセミナー開催時にお弁当をご準備しております。
- ・ 教育セミナー①②の2講演受講で、日本臨床腎移植学会 腎移植認定医制度更新のための単位(カテゴリー3: 献腎移植)、(カテゴリー2: 生体腎移植)各1単位が取得できます。受講証明書をご希望の先生は参加登録時にお申込みください。
受講証明書は教育セミナー②の講演終了後より閉会時まで、受付にて配布いたします。
オンライン参加の先生方は、後日両セミナーのご視聴確認後、受講証明書(PDF)をお送りさせていただきます。
- ・ 本学術集会のオンデマンド配信はございません。

<一般演題ご発表の先生方へ>

- ・ 演者の先生方も事前参加登録をお願いいたします。
- ・ ご来場の先生はご発表の45分前までにご発表データ(USB/CD-R等、WIN/MACいずれも可)を会場内データ受付までお持ちください。ご自身のPC持込の際もデータ受付にて接続チェックを行います。
- ・ WEB配信にてご発表の先生は配信用URL、入室時間等の詳細は一週間前にメールにてご連絡いたします。
- ・ 一般演題の発表時間はセッションにより異なります。
発表8分、質疑応答7分または発表6分、質疑応答4分となります。
プログラムをご確認の上、お時間は厳守ください。

移植腎病理研究会
事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-7-19 キャピタル赤坂5F 株式会社グラフィティ 内
TEL : 03-3583-1740 / FAX : 03-3583-1741 e-mail: kidpatho@graffiti97.co.jp
URL : <https://www.sec-information.net/kidpatho/>

8:55-9:00	Opening Remarks	小川 弥生 (第26回学術集會会長)
-----------	-----------------	--------------------

Session 1	拒絶関連 (症例)	【発表6分/討論4分】
-----------	-----------	-------------

	司会：金網友木子 (国際医療福祉大学熱海病院 病理診断科) 酒井 謙 (東邦大学医学部 腎臓学講座)
9:00-9:10	1-1 急性抗体性拒絶の診断で治療が奏効した一例 A case of successful treatment with diagnosis of acute antibody-mediated rejection after cadaveric renal transplantation 杉谷 篤 (同愛会・博愛病院 腎臓外科)
9:10-9:20	1-2 腎移植後長期安定経過中に抗MICA抗体の関与が疑われる急性抗体関連拒絶をきたした一例 A Case of Acute Antibody-Mediated Rejection Suspected to be Involved with Anti-MICA Antibodies During Long-Term Stable Course After Kidney Transplantation 余西 洋明 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学)
9:20-9:30	1-3 移植後12年目に発症したPlasma cell-rich acute rejectionによるChronic active T cell-mediated rejectionの一例 A case of chronic active T cell-mediated rejection caused by plasma cell-rich acute rejection 12 years after kidney transplantation 林 綾香 (東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科)
9:30-9:40	1-4 移植後18年目に腎機能の急速増悪を呈した1例 Renal biopsy in a patient with acute renal failure18 years after transplantation 柳内 充 (湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター／札幌徳洲会病院 病理診断科)

Session 2	早期病変、拒絶	【発表8分/討論7分】
-----------	---------	-------------

	司会：本田 一穂 (昭和大学医学部 解剖学講座) 山本 泉 (東京慈恵会医科大学 腎臓高血圧内科)
9:40-9:55	2-1 生体腎移植直後の虚血再灌流傷害の臨床病理学的検討 Clinicopathological study of ischemia-reperfusion injury immediately after living kidney transplantation 河西 恵州 (昭和大学 解剖学講座顕微解剖学部門／昭和大学藤が丘病院内科系診療センター 内科 (腎臓))
9:55-10:10	2-2 術前高用量免疫グロブリン投与を使用した免疫学的ハイリスク腎移植症例の病理学的検討 Pathological analysis of immunological high-risk renal transplantation with preoperative high-dose immunoglobulin administration 田邊 起 (市立札幌病院 泌尿器科・腎臓移植外科)
10:10-10:25	2-3 免疫多重染色のコンピューター解析が明らかにする急性腎拒絶反応の空間インデックス Computer analysis of immunomultiplex staining reveals a spatial index of acute kidney rejection 平井 敏仁 (東京女子医科大学 泌尿器科)
10:25-10:40	2-4 慢性抗体関連型拒絶の発症前後での急性抗体関連型拒絶関連遺伝子スコアと病理学的因子の検討 Clinicopathological study of antibody mediated rejection-related gene set expression before and after the development of chronic active antibody-mediated rejection. 岩崎 沙理 (北海道大学医学研究院 統合病理学教室／市立札幌病院 病理診断科)

5分休憩

特別講演

	司会：長田 道夫 (板橋中央総合病院 病理診断科)
10:45-11:45	腎臓における炎症性微小環境、三次リンパ組織 柳田 素子 先生 (京都大学大学院医学研究科 腎臓内科学)

レクチャー

	司会：原 重雄 (神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科)
11:45-12:15	Banff 2022分類の概要：AMR/MVIの再考 辻 隆裕 (市立札幌病院 病理診断科)

10分休憩

ランチョンセミナー 免疫グロブリンによる脱感作療法の実際

司会：石田 英樹 先生(東京女子医科大学 移植管理科)	
12:25-13:15	抗ドナー抗体陽性腎移植に対する高用量IVIg療法ーメカニズムと有用性についてー 堀田記世彦 先生(北海道大学大学院医学研究院 泌尿器外科学教室) 高用量IVIgによる脱感作プロトコールの確立をめざして 海上 耕平 先生(東京女子医科大学 移植管理科)
共催：一般社団法人 日本血液製剤機構	

13:15-13:25	事務報告	本田 一穂／武田 朝美
5分休憩		

教育セミナー① ※

司会：原田 浩(はらだ腎泌尿器クリニック)	
13:30-14:00	腎移植におけるCAAMR早期診断の展望 堀田記世彦(北海道大学大学院医学研究院 泌尿器外科学教室) ※教育セミナー①②の2講演受講で、日本臨床腎移植学会 腎移植認定医制度更新のための単位(カテゴリー 3: 献腎移植)、(カテゴリー 2: 生体腎移植)各1単位が取得できます。

Session 3 再発性腎炎・その他病態1(症例) 【発表6分/討論4分】

司会：北村 博司(国立病院機構千葉東病院 臨床病理診断部) 升谷 耕介(福岡大学医学部 腎臓・膠原病内科)	
14:00-14:10	3-1 腎移植後3週間で発症した骨髄腫腎の一例 A case of early development of multiple myeloma in a renal allograft 大木里花子(東京女子医科大学 移植管理科／東京女子医科大学 腎臓内科／東京女子医科大学 泌尿器科)
14:10-14:20	3-2 腎移植6年後にM蛋白血症を伴い蛍光抗体法でフルハウスパターンを認める糸球体腎炎を発症した1例 A case of glomerulonephritis with M-proteinemia and showing a full-house immunofluorescence pattern at 6 years after renal transplantation 山田 宗治(東京医科大学八王子医療センター腎臓病センター 腎臓内科・血液浄化療法室)
14:20-14:30	3-3 一次移植後、二次移植後に再発がみられたcomplement receptor 1の発現増強を伴う特異な膜性腎症の一例 A case of atypical recurrent membranous nephropathy with enhancement of complement receptor 1 in first and second kidney allograft 高上 紀之(東邦大学医学部 腎臓学講座)
14:30-14:40	3-4 タクロリムス、エベロリムス、バルプロ酸内服中に腎病理所見でThrombotic microangiopathyを呈した生体腎移植患者 Living renal transplant recipient with thrombotic microangiopathy on renal pathology while receiving tacrolimus, everolimus, or valproic acid 小林アズサ(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 腎臓内科)
14:40-14:50	3-5 Accelerated acute antibody mediated rejection加療後3か月で巣状分節性糸球体硬化症が顕在化したABO不適合腎移植の一例 A case of focal segmental glomerulosclerosis 3 months after treatment for accelerated acute antibody mediated rejection following ABO-incompatible kidney transplantation 池田 拓海(東京慈恵会医科大学附属病院 腎臓・高血圧内科)

5分休憩	
------	--

アフタヌーンセミナー 家族性地中海熱 (FMF) と腎移植

司会：武田 朝美 (衆済会 増子記念病院 腎臓内科)

14:55-15:45

3例の家族性地中海熱合併腎移植患者の経験を踏まえた抗IL-1 β 抗体という治療選択肢

余西 洋明 先生 (大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学)

不明熱・自己炎症性疾患の診療における問題点とその対策

梅田 雅孝 先生 (長崎大学病院 医療教育開発センター／
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 リウマチ・膠原病内科学分野)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

教育セミナー② ※

司会：小川 弥生 (NPO法人北海道腎病理センター)

15:45-16:15

移植腎病理：巣状分節性病変の捉え方 (腎炎再発から二次性糸球体変化まで)

種田 積子 (東京女子医科大学病院 病理診断科)

※ご来場にて参加の先生方は本講演終了後より閉会時まで日本臨床腎移植学会 腎移植認定医制度更新のための単位 (カテゴリー 3：献腎移植)、(カテゴリー 2：生体腎移植) 各1単位の受講証明書を配付いたします。お帰りの際に受付にお立寄り下さい。
オンライン参加の先生方は、後日両セミナーのご視聴確認後、受講証明書 (PDF) をお送りさせていただきます。

5分休憩

Session 4 再発性腎炎・その他病態2

【発表8分/討論7分】

司会：清水 章 (日本医科大学 解析人体病理学)
清水 朋一 (東京女子医科大学 移植管理科・泌尿器科)

16:20-16:35

4-1 腎移植後FSGS再発例における抗nephrin抗体の関与

A possible role of anti-nephrin autoantibody in patients with post-transplant focal segmental glomerulosclerosis recurrence

白井 陽子 (東京女子医科大学 腎臓小児科)

16:35-16:50

4-2 腎移植後de novo collapsing FSGSの臨床病理学的検討

Clinicopathological analysis of de novo collapsing FSGS after kidney transplantation

植松 光 (東邦大学医学部 腎臓学講座)

16:50-17:05

4-3 CNI腎症の発症機序におけるTonEBPの関与に対する考察

Role of TonEBP for calcineurin inhibitor-induced nephrotoxicity.

眞田 寛 (JCHO仙台病院 腎臓疾患研究センター)

17:05-17:20

4-4 移植腎生検組織における経時的な交感神経再生に関する臨床病理学的検討

Clinicopathological study of sympathetic nerve regeneration over time in transplanted kidney biopsy tissue

大木悠太郎 (東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科)

17:20-17:25

Closing Remarks (次期会長)

■ 移植腎病理研究会 ホームページ ■

<https://www.sec-information.net/kidpatho/>

抄録、および画像は、6月下旬頃よりホームページ上にて事前閲覧頂ける予定です。